

## 4年—Unit 4

## 単元名

What time is it?

今、何時？

## 1. 単元目標

- ・世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

※二重線は、「指導編」記載の単元目標を変更した部分。

## 2. 言語材料

○ What time is it? It's (8:30). It's ("Homework Time"). How about you?

○ 数字 (forty, fifty, sixty), a.m., p.m., about, 日課・時間 ([wake-up / breakfast / study / lunch / snack / dinner / homework / TV / bath / bed / dream] time)

[既出] 挨拶, How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. What day is it? It's (Monday). what, is, it, book, 数 (1~60), 曜日, スポーツ, 遊び

## 3. 該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

## 4. 単元計画 (4時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (□, ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆時刻や日課の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○チャンツ What day is it? (Unit 3)</p> <p>○どんな場面かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに慣れ親しんだ数の言い方を確認したり、時刻と日課の言い方を知ったりする。</li> </ul> <p>○先生の生活を知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の話を聞いて、指導者の日課を知る。</li> <li>・時刻や時刻の言い方を何度も聞いたり指導者の質問に答えたりして、慣れ親しむ。</li> </ul> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.14, 15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物がどの時刻に何をするかを聞いて、時刻と日課を線で結ぶ。</li> </ul> <p>【Let's Chant】 What time is it? p.15</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	◎時刻や日課を聞いている。<行動観察・誌面点検・振り返りカード点検>
2	<p>◆世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Chant】 What time is it? p.15</p> <p>○ポインティング・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の言う日課を、誌面の p.14, 15 から探して指さし、繰り返して言う。</li> </ul> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.16, 17</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の質問に答えながら、時刻の言い方に慣れ親しむ。</li> </ul>	◎世界の国や地域によって時刻が違うことに気付いている。<行動観察・振り返りカード分

	<p>・映像資料を視聴し時計を完成させ、時刻と日課を線で結ぶ。</p> <p><b>【Let's Listen】</b> p.16</p> <p>・音声を聞いて、時刻を聞き取り、時計に短針を記入し時計を完成させる。</p> <p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2)</p>	<p>析&gt;</p> <p>◎時刻や日課を聞いたり言ったりしている。&lt;行動観察・誌面点検・振り返りカード点検&gt;</p> <p>◎時刻や日課を聞いている。&lt;行動観察・誌面分析・振り返りカード点検&gt;</p>
3	<p>◆自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p><b>【Let's Chant】 What time is it?</b> p.15</p> <p><b>【Let's Watch and Think 1】</b> p.14, 15</p> <p>・映像を通して視聴する。</p> <p>○友達の日課と比べよう。</p> <p>・ペアで日課の時刻を尋ね合い、自分と友達的生活と比べる。</p> <p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2)</p>	<p>◎日課について、尋ねたり答えたりしている。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p>
4	<p>◆相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。</p> <p><b>【Let's Chant】 What time is it?</b> p.15</p> <p><b>【Let's Watch and Think 2】</b> p.16, 17</p> <p>・全体を再度視聴し、日課や時刻についてやりとりをする。</p> <p><b>【Activity】</b> p.17</p> <p>・自分の好きな時刻や日課とその理由を伝え合う。</p> <p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2)</p>	<p>◎相手に配慮しながら、自分の好きな時間について尋ねたり答えたりして伝え合っている。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p>

4年 Unit 4—Lesson 1 What time is it? 今、何時? 1/4時間
目 標 時刻や日課の言い方に慣れ親しむ。
準 備 児童用テキスト、教師用カード（日課）、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して、個別にも挨拶をする。	
2分	○チャンツ What day is it? (Unit 3)	・児童と一緒にチャンツを言う。	デジタル教材
10分	○どんな場面かな。 ・児童用テキスト p.14,15 を見て、英語で言えるものを発表する。これまでに慣れ親しんだ数の言い方を確認したり、時刻と日課の言い方を知ったりする。	・児童用テキスト p.14, 15 を開けさせ、英語で表現できるものを発表させる。指導者は児童の答えやつぶやきを拾いながら、10種類の日課のイラストがどのような場面かを児童から引き出し、日課の言い方を紹介する。その際、日課の絵カードを黒板に順に掲示し、次の活動につなげる。 ・ここでは児童の負担を考慮し、日課の言い方を以下のように名詞にしている。本単元で自分や友達の日課を題材に、これらに慣れ親しんだことが、5年生 Unit 4 につながる。 [Wake up / Breakfast / Study / Lunch / Snack / Homework / Dinner / Bath / Bed / Dream] Time ・自分の生活と学級の友達的生活を比べながら、誌面の各イラストの時刻と日課を扱うことで、児童の興味・関心を高めるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (日課)
10分	○先生の生活を知ろう。 ・指導者の話を聞いて、指導者の日課を知る。 ・時刻の言い方を何度も聞いたり指導者の質問に答えたりして、慣れ親しむ。	・前活動で黒板に掲示した日課の絵カードの下に、日課の言い方を確認しながら、円(時計の外枠)を描いていく。指導者自身の日課を紹介しながら、時計に見立てた円に短針と長針を描き、時刻を示す。(円に12, 3, 6, 9時を表す点を円上に打つ) ・一方的に話すのではなく、What time do you wake up / go to bed? What time is your “Breakfast Time”? などと児童に問いかけ、児童の答えやつぶやきを拾いながら、何度も日課や時刻を聞かせ、慣れ親しませるようにする。	教師用カード (日課)
10分	【Let's Watch and Think 1】 p.14, 15 ・登場人物がどの時刻に何をするかを聞いて、時刻と日課を線で結ぶ。	・登場人物の1日の生活を見せて、日課のイラストと時刻を線で結ぶよう伝える。 ・児童用テキスト誌面には、日課の絵と時刻を結ぶためのドットは記されていないが、デジタル教材の画面では両方にドットが記されている。そこでまず指導者がデジタル画面を映し出し、例として線で結ぶのを示すとよい。 ・10種類の日課を一気に視聴させるのではなく、児童にどの日課から視聴したいか尋ねたり、児童自身は何時にしているかを尋ねたりしながら、自分の生活と比べてみようと呼びかけ、1つずつ視聴させる。 ・自分の生活と比べながら視聴させることで、児童の興味・関心を高めるようにする。 ・音声で例えば9時に寝る日課を“Bed Time”と言っ	デジタル教材 教師用カード (日課)

		<p>ているが、当然「9時」のことをさしているのではなく「寝ること」を“Bed Time”と言っている。他の日課も同様である。</p>	
	<p>What time is it? It's 6 a.m. It's "Wake-up Time." Good morning.          What time is it? It's 7 a.m. It's "Breakfast Time." Yummy.          What time is it? It's 10 a.m. It's "Study Time." I like English.          What time is it? It's 12 p.m. It's "Lunch Time." I love school lunch.          What time is it? It's 3 p.m. It's "Snack Time." I'm happy.          What time is it? It's 5 p.m. It's "Homework Time." I study Japanese.          What time is it? It's 7 p.m. It's "Dinner Time." I'm hungry.          What time is it? It's 8 p.m. It's "Bath Time." I'm fine.          What time is it? It's 9 p.m. It's "Bed Time." Good night.          What time is it? It's 3 a.m. It's "Dream Time." I'm happy.</p>	<p>◎時刻や日課を聞いている。〈行動観察・誌面点検・振り返りカード点検〉</p>	
4分	<p><b>[Let's Chant] What time is it?</b>          p.15          ・言えるところから言う。</p>	<p>・まずチャンツを聞かせ、言えるところから言わせるようにする。          ・児童と一緒に言う。</p>	デジタル教材
	<p>What time is it? What time is it? (=※)          It's 6 a.m. It's "Wake-up Time."          ※ It's 7 a.m. It's "Breakfast Time."          ※ It's 10 a.m. It's "Study Time."          ※ It's 12 p.m. It's "Lunch Time."          ※ It's 3 p.m. It's "Snack Time."          ※ It's 5 p.m. It's "Homework Time."          ※ It's 7 p.m. It's "Dinner Time."          ※ It's 8 p.m. It's "Bath Time."          ※ It's 9 p.m. It's "Bed Time."          ※ It's 3 a.m. It's "Dream Time."</p>		
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p>	振り返りカード
2分	<p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2)          ・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。          ・挨拶をする。</p>	デジタル教材

## 4年 Unit 4—Lesson 2 What time is it? 今、何時? 2/4時間

目 標 世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課の言い方に慣れ親しむ。

準 備 児童用テキスト、教師用カード（日課）、デジタル教材、ワークシート（Unit 1-2, 1-3：ビンゴシート）、振り  
返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して、個別にも挨拶をする。	
3分	<p><b>【Let's Chant】 What time is it?</b> p.15 ・言えるところから言う。</p>	<p>・児童と一緒に言う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>What time is it? What time is it? (=※)</p> <p>It's 6 a.m. It's "Wake-up Time."            ※ It's 7 a.m. It's "Breakfast Time."            ※ It's 10 a.m. It's "Study Time."            ※ It's 12 p.m. It's "Lunch Time."            ※ It's 3 p.m. It's "Snack Time."            ※ It's 5 p.m. It's "Homework Time."            ※ It's 7 p.m. It's "Dinner Time."            ※ It's 8 p.m. It's "Bath Time."            ※ It's 9 p.m. It's "Bed Time."            ※ It's 3 a.m. It's "Dream Time."</p> </div>	デジタル教材
10分	<p><b>○ポインティング・ゲーム</b> ・指導者の言う日課を、誌面 p.14, 15 の絵から探して指さし、繰り返して言う。 ・ペアで行った後、個人で行う。</p>	<p>・指導者は、児童と日課の言い方を確認しながら黒板に日課の絵カードを朝から順に掲示する。その際、児童に Do you like “~Time”? What time is your “~Time”? などと問いかけ、児童とやり取りをしながら掲示していく。このことが単元終末の活動につながる。すべての絵カードを掲示したところで、ポインティング・ゲームをすることを伝える。日課の言い方を聞いたり言ったりして、慣れ親しませることがねらいである。</p>	教師用カード （日課） デジタル教材 児童用テキスト
15分	<p><b>【Let's Watch and Think 2】</b> p.16, 17 ・指導者の質問に答えながら、時刻の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>・映像資料を視聴し、時計を完成させ、時刻と日課の絵を線で結ぶ。</p>	<p>・児童用テキスト p.16, 17 を開かせ、Let's Watch and Think の地図にある都市名（London, Tokyo, San Francisco, New York）と、それがどの国にあるかを確認する。</p> <p>・東京の時刻について What time is it in Tokyo? と尋ね、児童から Twelve. という答えを引き出し、It's twelve. と時刻の言い方を確認する。次に、東京が正午の時、It's twelve in Tokyo. What time is it in London / San Francisco / New York? と、ほかの都市は何時かと問いかけ、児童に時刻を予想させる。児童の答えやつぶやきを拾って、何度も It's ~. と時刻の言い方を聞かせ、児童が自ら It's ~. というようにする。</p> <p>・まず、東京の映像から見せて、正午であることを確認し、時計と日課の絵を線で結ばせる。続いてほかの3都市を1つずつ見せて、時計に長針を記入し、日課の絵と線で結ばせる。</p> <p>・また、他都市での時刻を予想させるとともに、その時刻に、その都市の子供たちは何をしているかも考えさ</p>	デジタル教材 児童用テキスト

		え、児童に日課を自ら言うように促す。世界の様々な地域で、それぞれがさまざまな生活を営んでいることを感じさせたい。 ・インターネット接続が可能なら、世界のリアルタイム映像を視聴させ、児童の興味・関心を高めたい。	
		<p>① グレース : Hi, this is Grace. I'm in London. It's 3 a.m. It's "Dream Time." How about you, Graham?</p> <p>② グラハム : Hi, Grace. I'm in Tokyo. It's 12 p.m. It's "Lunch Time." How about you, Jane?</p> <p>③ ジェーン : Hi, Graham. I'm in San Francisco. It's 7 p.m. It's "Dinner Time." How about you, Chris?</p> <p>④ クリス : Hi, Jane. I'm in New York. It's 10 p.m. It's "Bed Time." See you!</p>	
		◎世界の国や地域によって時刻が違うことに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉 ◎時刻や日課を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・誌面分析・振り返りカード点検〉	
8分	<p><b>【Let's Listen】</b> p.16</p> <p>・音声を聞いて、時刻を聞き取り、時計に長針を記入し時計を完成させる。</p>	<p>・児童の実態に応じて、誌面にある4種類の日課の言い方を確認してから行ってもよい。</p> <p>・また、ここでの聞き取りが、単元終末の活動のモデルとなることから、単に聞く活動で終わらせるのではなく、それぞれ聞いた後、Do you like “~Time”? What time is your “~Time”? などと児童に問いかけ、児童とやり取りをするようにする。</p> <p>・また児童の実態によっては、本活動の前にビンゴ・ゲームなどで時刻の言い方に慣れ親しませておくのもよい。各児童にビンゴシート (Unit 1-2, 1-3) を配布し、マスに1~12の数字を書かせ、全児童に What time is it? と問わせ、指導者が It's ~. で答える。指導者の言った時刻の数字がシートにあればチェックする。縦、横、斜めのどれか1列にチェックがそろえばビンゴとなる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 1-2, 1-3 : ビンゴシート)
	<p>1 さよ : I like 3 p.m. 友達 : Why? さよ : It's "Snack Time." I like sweets.</p> <p>2 ロバート : I like 7 a.m. 友達 : Why? ロバート : It's "Breakfast Time." I like <i>miso</i> soup.</p> <p>3 たける : I like 8 p.m. 友達 : Why? たける : It's "Bath Time." I like my new shampoo.</p> <p>4 ジョアン : I like 5 p.m. 友達 : Why? ジョアン : It's "Homework Time." I like English.</p>		
		◎時刻や日課を聞いている。〈行動観察・誌面点検・振り返りカード点検〉	
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

4年 Unit 4—Lesson 3	What time is it? 今, 何時? 3/4時間
目 標	自分の好きな時間について, 尋ねたり答えたりして伝え合う。
準 備	児童用テキスト, 教師用カード(日課), デジタル教材, ワークシート (Unit 4-1, 4-2), 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して, 個別にも挨拶をする。	
2分	<b>【Let's Chant】 What time is it?</b> p.15	・児童と一緒に言う。 ・時刻の部分を, 自分の時刻に代えて言わせる。	デジタル教材
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>What time is it? What time is it? (=※)</p> <p>It's 6 a.m. It's "Wake-up Time."</p> <p>※ It's 7 a.m. It's "Breakfast Time."</p> <p>※ It's 10 a.m. It's "Study Time."</p> <p>※ It's 12 p.m. It's "Lunch Time."</p> <p>※ It's 3 p.m. It's "Snack Time."</p> <p>※ It's 5 p.m. It's "Homework Time."</p> <p>※ It's 7 p.m. It's "Dinner Time."</p> <p>※ It's 8 p.m. It's "Bath Time."</p> <p>※ It's 9 p.m. It's "Bed Time."</p> <p>※ It's 3 a.m. It's "Dream Time."</p> </div>	
8分	<b>【Let's Watch and Think 1】</b> p.14, 15 ・映像を通して視聴する。	・前時に視聴した, 映像を通して見せる。指導者は, 登場人物が名前, 時刻, 日課を言う前にいったん止めて, Is it "Bed Time / Dinner Time / Lunch Time"?などと尋ね, 児童から日課を引き出し, 前時の活動を想起させるようにする。 ・その際に, 指導者は What time is your "Wake-up Time"? などと尋ね, 児童とやり取りしながら進めるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (日課)
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>What time is it? It's 6 a.m. It's "Wake-up Time." Good morning.</p> <p>What time is it? It's 7 a.m. It's "Breakfast Time." Yummy.</p> <p>What time is it? It's 10 a.m. It's "Study Time." I like English.</p> <p>What time is it? It's 12 p.m. It's "Lunch Time." I love school lunch.</p> <p>What time is it? It's 3 p.m. It's "Snack Time." I'm happy.</p> <p>What time is it? It's 5 p.m. It's "Homework Time." I study Japanese.</p> <p>What time is it? It's 7 p.m. It's "Dinner Time." I'm hungry.</p> <p>What time is it? It's 8 p.m. It's "Bath Time." I'm fine.</p> <p>What time is it? It's 9 p.m. It's "Bed Time." Good night.</p> <p>What time is it? It's 3 a.m. It's "Dream Time." I'm happy.</p> </div>	

26分	<p>○友達の日課と比べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで日課の時刻を尋ね合い、自分と友達の生活と比べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアになり、日課の時刻を尋ね合い、自分の生活と比較するよう伝える。</li> </ul>	児童用テキスト ワークシート (Unit 4-1, 4-2)
<p><b>進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が数名の児童に，“Bed Time”, what time is it? など日課の時刻を尋ねてやり取りをする。</li> <li>・その続きで、みんなも互いに尋ね合おうと呼びかけ、隣、前後、斜めどうして尋ね合わせる。その様子を見て、教室を歩いて回り、ペアになって日課について尋ね合わせるなど、児童が「相手のことが分かった、自分のことが伝えられた」と達成感がもてるよう、児童の実態に合った工夫を心掛ける。</li> <li>・中間評価を行い、後半の活動がねらいに沿ったものとなるようにする。中間評価では、例えば、前半の活動で気持ちの良いやり取りをしているペアを見つけておき、みんなの前でそのやり取りを再現させ、どのような点がよいかをみんなで考え、後半はそれを生かすように促し、よりねらいに沿った活動となるようにする。</li> </ul> <p>&lt;配慮事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の生活は、入浴習慣や夕食時刻などが多様化しているため、児童によっては答えたくない内容もあるということに配慮する必要がある。児童の伝え合いの意欲が減退しないよう、児童の実態に応じて尋ねる項目を選定することが大切である。</li> <li>・また、Lunch Time, Study Time は、ほぼどの児童も同じであることからここでは扱わないことも考えられる。Snack Time については、そのような習慣のない児童も多いが、あえて扱うことで、児童から No (Snack Time). (自分はそのようなことはしていない) と答えさせることも大切であり、人によって生活が異なることを実感させることができる。ここでは、少なくとも起床、朝食、宿題、就寝などの日課の時刻を尋ね合わせたい。</li> </ul>			
		◎日課について、尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</li> </ul>	振り返りカード
2分	<p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に歌う。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	デジタル教材

## 4年 Unit 4—Lesson 4 What time is it? 今, 何時? 4/4 時間

目 標 相手に配慮しながら, 自分の好きな時間について伝え合おうとする。

準 備 児童用テキスト, 教師用カード(日課), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して, 個別にも挨拶をする。	
5分	<p><b>【Let's Chant】 What time is it?</b> p.15</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>What time is it? What time is it? (=※) It's 6 a.m. It's "Wake-up Time." ※ It's 7 a.m. It's "Breakfast Time." ※ It's 10 a.m. It's "Study Time." ※ It's 12 p.m. It's "Lunch Time." ※ It's 3 p.m. It's "Snack Time." ※ It's 5 p.m. It's "Homework Time." ※ It's 7 p.m. It's "Dinner Time." ※ It's 8 p.m. It's "Bath Time." ※ It's 9 p.m. It's "Bed Time." ※ It's 3 a.m. It's "Dream Time."</p> </div>	<p>・児童と一緒に言う。 ・時刻の部分, 自分の時刻に代えて言わせる。</p>	デジタル教材 教師用カード (日課)
10分	<p><b>【Let's Watch and Think 2】</b>p.16, 17 ・全体を再度視聴し, 指導者の質問に答えたり, 自分の気持ちを伝えたりする。</p>	<p>・全体を再度通してデジタル教材を視聴させ, 映像の中の日課や時刻について児童とやり取りをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>例 T: What time is it? S1: It's "Dream Time." T: Do you like "Dream Time"? S1: Yes! T: Me, too.</p> </div>	デジタル教材
21分	<p><b>【Activity】</b> p.17 ・指導者の話を聞いて, 指導者の生活を知る。</p> <p>・指導者の質問に答えたり, Let's Listen の音声を聞いたりして, 自分の好きな時間の伝え合い方を確かめる。</p> <p>・自分の好きな時刻や日課とその理由を伝え合う。</p>	<p>・好きな時刻と理由を話し, 例を示す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>例 T: I like "7 a.m." Why? (児童にどうしてだと思おうかという問いかけ) I like "Breakfast Time". I like <i>miso</i> soup.</p> </div> <p>・続いて, 数名の児童に What time do you like? と尋ね, その答えに応じて, さらに Why? と尋ね, 活動の見通しをもたせる。さらに, 再度 Let's Listen で伝え合うモデルを聞かせ, 確かめさせる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各児童は, 1日の生活の中で自分が1番好きな時刻とその理由をあらかじめ誌面に記入しておく。</li> <li>・教室内を歩いて回り, ペアになって, 好きな時刻や日課とその理由を伝え合う。</li> <li>・活動を途中で止め, 中間評価を行い, よりねらいに沿った活動となるようにする。</li> </ul> </div>			

	<p>進め方 (つづき)</p> <p>A: Hello. B: Hi. A: I like 3:00. B: Why? A: It's "Snack Time". I like cakes. How about you? B: I like 7:00. A: Why? B: It's "Dinner time". I like <i>sushi</i>. A: OK, thank you. B: Thank you.</p>	◎相手に配慮しながら, 自分の好きな時間について尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</li> </ul>	振り返りカード
2分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2)</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に歌う。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	デジタル教材